

YKKグループと YKK APの理念

YKK創業者の吉田忠雄は、「善の巡環」という精神を事業活動の基本とし、YKK二代目社長でありYKK AP創業者でもある吉田忠裕は、この精神を基に経営理念「更なるCORPORATE VALUEを求めて」を策定しました。そしてYKK APは、これらを基盤として策定した「Purpose（パーパス）」を自らの存在意義とし、今では社員の行動や経営判断の中枢に根付いています。私たちは、社名である「AP (Architectural Products)」にこだわり続けながら、社会の幸せに貢献する会社となることをめざしていきます。

YKK精神



YKK創業者
吉田 忠雄 (1908~1993)

企業は社会の重要な構成員であり、共存してこそ存続でき、その利点を分かち合うことにより、社会からその存在価値が認められる。YKK創業者の吉田忠雄は、事業を進めるにあたり、その点について最大の関心を払い、お互いに繁栄する道を考えました。事業活動の中で発明や創意工夫をこらし、常に新しい価値を創造することによって事業の発展を図ることが、お客様、お取引先の繁栄につながり、社会貢献できると考えたのです。

このような考え方を「善の巡環」と称し、常に事業活動の基本としてきました。私たちはこの考え方を受け継ぎ、YKK精神としています。

「善の巡環」他人の利益を図らずして自らの繁栄はない



YKKグループの 経営理念

YKK精神は事業活動の礎となり、長きにわたってグループの発展を支えてきました。時代の潮流を捉えてこの精神を進化させたのが、経営理念「更なるCORPORATE VALUEを求めて」です。経営理念は企業価値を高める重要性を説いており、すべての判断基準の根底をなす「公正」を軸に、価値創造への絶え間ない努力に対する決意を表しています。



YKK AP創業者
現 YKK・YKK AP相談役
吉田 忠裕

YKKグループが「善の巡環」の精神に基づく経営理念として掲げるのが「更なるCORPORATE VALUEを求めて」です。

私たちはお客様に喜ばれ、社会に評価され、社員が誇りと喜びを持って働ける会社でありたいと考えています。そのための手段として、商品、技術、経営の質を高めていきます。そして、これらを実践するにあたって常に根底にあるのが「公正」であり、これをあらゆる経営活動の基盤としています。

この経営理念は、1994年当時、YKKおよびYKK APの社長を務めた吉田忠裕によって策定されました。

更なるCORPORATE VALUEを求めて



YKKは、更なるCORPORATE VALUE(企業価値)を求めて、7つの分野に新たなQUALITY(質)を追求します。